

〈社会教育士の育成・活用及び出前型ネットワーク型の学習機会の充実〉生涯学習推進課

【既定】	社会教育の振興	予算額	9,658 千円
【既定】	社会教育事業の運営	予算額	15,159 千円
【既定】	次世代型科学教育の推進	予算額	19,500 千円
【投資】	次世代型科学教育の新たな拠点等の整備	予算額	453,877 千円

事業の目的・概要

誰もが自分らしく生きることを大切にしながら、みんなで社会を創るためには、学び続けられ、学んだ成果を誰かのために生かしたり、役立てたりすることが重要です。

そのために、それぞれの主体的な学びを育むとともに、学び合い、教え合うことができるよう、身近な場所での学びや、人々のつながりをつくることで、一人ひとりの生きがいにつながる生涯にわたる学びを支援します。

主な取組内容

➤ 社会教育士を効果的に活用した学びの支援等の充実

教育委員会事務局の社会教育主事^{※1}が中心となって、地域で活躍する社会教育士^{※2}をはじめとした、民間や地域等の社会教育に関わる人材や様々な取組を積極的に支援していきます。

地域の社会教育士の能力を生かすことで、地域の人材や資源を結びつけ、地域の力を引き出し、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」につなげていきます。

また、リニューアルオープン後の社会教育センターを、社会教育士等の活動拠点として活用するほか、社会教育委員の会議での意見を踏まえながら、社会教育士を中心とした地域での学びの支援を具体化し、実施していきます。

※1 社会教育主事…社会教育関係団体等の活動に対する専門的技術的な助言・指導などを担う、教育委員会事務局に置かれる専門職員

※2 社会教育士…ファシリテーション能力やプレゼンテーション能力、コーディネート能力を有し、地域の教育、福祉、防災、環境、産業など様々な分野における学びの支援を通して、人づくりや地域づくりに携わる役割を担う専門人材の称号

➤ 科学の拠点の整備・開設

民間事業者が整備・運営を行い10月に開設する旧杉並第四小学校の跡地を活用した科学の拠点では、リニューアル後の各室を活用し、科学展示や実験教室を実施するほか、夏休みなどの長期休暇期間には、体育館で企画展を開催します。これらを、参加型・体験型のプログラムで実施するとともに、定期的にテーマを更新することで、いつ来ても新たな発見が得られる学びの機会としていきます。

さらに、区民に身近な地域の施設で実施する出前型の科学教育事業を運営事業者へ委託することで、区内における科学教育の一体的な充実を図ります。

本施設を拠点に、区や運営事業者をはじめ科学団体や学校、企業など、多様な主体が関わり合うことで、豊かな学びを創造し、区民に新たな科学の学びを提供していきます。